

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公開番号】特開2009-91552(P2009-91552A)

【公開日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2008-228375(P2008-228375)

【国際特許分類】

C 08 L 27/00 (2006.01)

C 08 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 27/00

C 08 K 5/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年9月28日(2012.9.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 塩化ビニル、フッ化ビニル、塩化ビニリデン、およびフッ化ビニリデンから選択される1以上のモノマーのハロゲン化ポリマーを少なくとも80重量%含むホモポリマーもしくはコポリマー、および塩素化ポリ塩化ビニル、および塩素化ポリエチレンから選択される1以上のハロゲン化ポリマー(A)20~99重量%;

(b) 500000より大きい重量平均分子量を有する1以上のコポリマー(B)であって、モノマー繰り返し単位基準で0.4から5モル%の、-ケトエステル、-ケトイミド、-ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン、-ニトロエステル、スルホンアジド、チオール、チオール-s-トリアジン、およびアミンから選択される1以上の官能基(該官能基は、これらの官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーを重合することによるか、または重合後にポリマーをさらなる反応で後官能化することにより、ポリマー中に組み入れられる)を含むコポリマー(B)0.5~20重量%を含む配合物。

【請求項2】

前記官能基を、コポリマー(B)のモノマー繰り返し単位基準で0.8から5モル%含む請求項1記載の配合物。

【請求項3】

前記官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーが、-ケトエステルおよびアミド、-ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン並びに-ニトロエ斯特ルの群から選択される請求項1記載の配合物。

【請求項4】

前記官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーが、アセトアセトキシエチル(メタ)アクリレート、アセトアセトキシプロピル(メタ)アクリレート、アセトアセトキシブチル(メタ)アクリレート、2,3-ジ(アセトアセトキシ)プロピル(メタ)アクリレート、アセトアセトキシエチル(メタ)アクリルアミド、2-シアノアセトキシエチル(メタ)アクリレート、2-シアノアセトキシエチル(メタ)アクリルアミド、N-シアノアセチル-N-メチルアミノエチル(メタ)アクリレート、N-(2-プロピオニル)アセト

キシブチル) (メタ) アクリルアミドの群から選択される請求項 1 記載の配合物。

【請求項 5】

前記官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーがアセトアセトキシエチル(メタ)アクリレートである請求項 1 記載の配合物。

【請求項 6】

0.1 から 6 重量% の発泡剤をさらに含む請求項 1 記載の配合物。

【請求項 7】

コポリマー(B)のガラス転移温度(Tg)が 0 から 150 の間である請求項 1 記載の配合物。

【請求項 8】

コポリマー(B)のガラス転移温度(Tg)が 55 から 150 の間である請求項 1 記載の配合物。

【請求項 9】

(a) 塩化ビニル、フッ化ビニル、塩化ビニリデン、およびフッ化ビニリデンから選択される 1 以上のモノマーのハロゲン化ポリマーを少なくとも 80 重量% 含むホモポリマーもしくはコポリマー、および塩素化ポリ塩化ビニル、および塩素化ポリエチレンから選択される 1 以上のハロゲン化ポリマー 20 から 99 重量% ;

(b) 500000 より大きい重量平均分子量を有するポリマーであって、 - ケトイステル、 - ケトアミド、 - ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン、 - ニトロエステル、スルホンアジド、チオール、チオール - s - トリアジン、およびアミンを包含する官能基の 1 以上を、 モノマー繰り返し単位基準で 0.4 から 5 モル% 含むポリマー 0.5 ~ 20 重量% ;

を含む、押出配合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

本発明は、

(a) 塩化ビニル、フッ化ビニル、塩化ビニリデン、およびフッ化ビニリデンから選択される 1 以上のモノマーのハロゲン化ポリマーを少なくとも 80 重量% 含むホモポリマーもしくはコポリマー、および塩素化ポリ塩化ビニル、および塩素化ポリエチレンから選択される、 1 以上のハロゲン化ポリマー(A) 50 ~ 99 重量% ;

(b) 500000 より大きい重量平均分子量を有する 1 以上の(コ)ポリマー(B)であって、モノマー繰り返し単位基準で 0.4 から 100 モル% (好ましくは、 0.8 から 40 モル% 、さらに好ましくは 0.8 から 5 モル%)の、 - ケトイステル、 - ケトアミド、 - ジケトン、シアノ酢酸エステル、マロネート、ニトロアルカン、 - ニトロエステル、スルホンアジド、チオール、チオール - s - トリアジン、およびアミンから選択される 1 以上の官能基(前記官能基は、これらの官能基を含有するエチレン性不飽和モノマーを重合することによるか、または重合後にポリマーを さらなる反応 で後官能化することにより、ポリマー中に組み入れられる)を含む(コ)ポリマー(B) 0.5 ~ 20 重量% ; を含む配合物である。